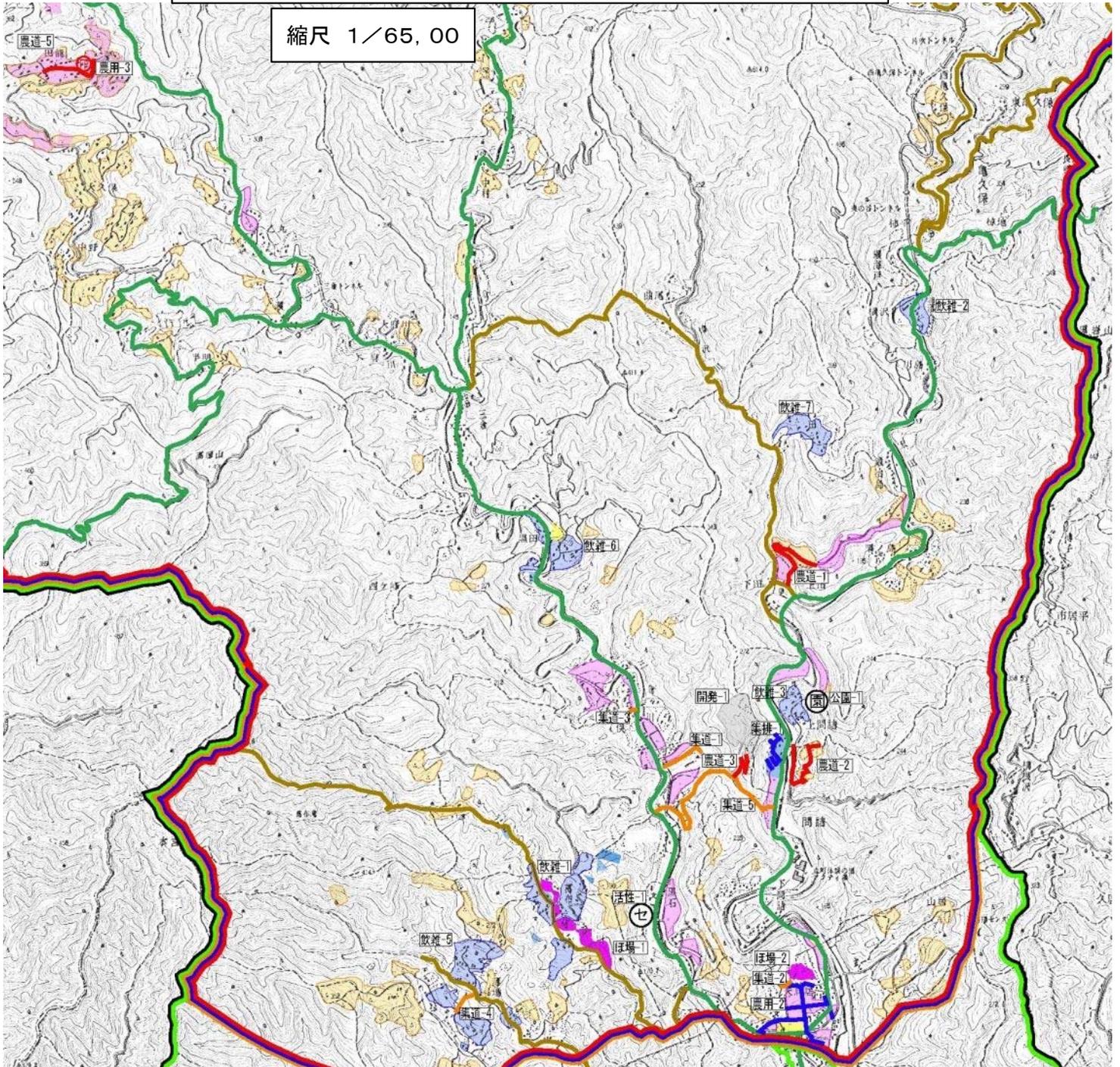


番号	21	平成27年度公共事業事後評価調書			担当課名〔農地保全課〕	
事業名	中山間地域総合整備事業(一般型)			事業主体	静岡県	
箇所名	あまがたみくら 天方三倉			市町名	森町	
事業概要						
受益面積	37.6ha	採択年度	平成11年度	完了年度	当初 実績	平成15年度 平成21年度
事業費	前回	1,355百万円(H19計画変更時)	実績	1,333百万円		
事業量	農業用排水 延長1,487m 農用地開発 面積7.8ha 農業集落排水 延長275m		農道整備 延長2,201m 農業集落道 延長629m 農村公園 1箇所 他		ほ場整備 面積3.8ha 営農飲雑用水 6箇所	
事業の目的・必要性						
<p>本地域は静岡県西部、清流太田川の最上流部に位置し、山村振興地域、特定農山村地域に指定されている。豊かな自然と、谷地田や茶畑といった農村環境が楽しめる地域となっている。しかし、狭く入り込んだ水田、茶園では収量も低く、農作業も人力に頼らざるを得ず、農業収入も低い状況であり、地域の活力は失われつつある。このため、農業生産基盤及び生活環境基盤を整備し、お茶を中心とした地域産業の振興を図ると共に、自然環境や特産物などの特性を生かした都市住民との交流の促進を図る。</p>						
事業の効果等						
費用対効果 分析結果	前回 計画 変更 (H20)	B/C	総費用 10.10 億円 (事業費: 10.10 億円)	総便益 10.90 億円 (農業生産向上効果: 4.40 億円 農業経営向上効果: 6.50 億円)	基準年	平成19年
	事後	B/C	総費用 17.90 億円 (事業費: 13.60 億円 再整備費等: 4.30 億円)	総便益 18.80 億円 (食料安定供給確保効果: 15.40 億円 農村振興効果: 3.40 億円)	基準年	平成26年
<p>1)費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化 ・土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの改正による評価期間や費用分析手法の変更に伴い、総費用・総便益額が増加した。</p> <p>2)事業効果の発現状況 <食料の安定供給の確保に関する効果> ・農用地開発により、乗用機械の導入が可能な生産効率の高い樹園地が造成され、安定した生産量が確保されるようになった。 ・農道整備により、営農労力及び作業時間の削減が図られた。 ※営農に係る走行経費節減効果: 1haあたりの年間農作業時間 399時間/ha ⇒ 100時間/ha ・ほ場整備により、小規模分散農地が集約され、併せて道路及び用排水路を整備したことで、作業効率が向上し営農時間が大幅に短縮した。 ※営農経費節減効果: 1haあたりの年間農作業時間 273時間/ha ⇒ 120時間/ha <農村の振興に関する効果> ・営農飲雑用水の整備により、用水の安定供給が確保されるとともに、維持管理費の節減が図られた。</p>						
事業により整備された施設の管理状況						
<p>(1)用排水路、農道、農村公園、活性化施設 施設管理者である森町により、年2回程度の草刈りを実施するなど、適切に管理が行われている。また、農村公園においては、自治会がグリーンバンクを活用し、四季折々の植栽を施すなど、地域住民による愛着ある管理が行われている。</p> <p>(2)営農飲雑用水、農用地開発、ほ場整備、農業集落排水 営農者が、施設の維持管理を輪番で行っているなど、適切に管理されている。</p>						

事業実施による環境の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・本事業地域は、狭い耕作道の拡幅、水はけの悪い排水路の改修、湿田の暗渠排水の施工、用水路の設置、傾斜のきつい茶園の平坦化等が図られ、農産物の安定的な生産が図れるようになった。このことで、農事組合法人「あじさいグループ」及び株式会社「天方」の生産販売意欲が向上し、道の駅「アクティ森」と連携を図り、取扱い商品の増大（100種類以上）や販売経路の開拓、年間約40回を超えるイベント開催等、多様な取組みを展開している。 ・農用地開発によって、茶園が造成（7.8ha）され、安定した経営基盤を得た農業者の生産意欲が向上した。また、地域の生産茶（天方茶）の人気は都市圏で高く、需要に対する安定的な供給が一層図れる体制となったことで、ブランド化の確立へ向けて着実に進んでいる。
社会経済情勢等の変化
<ul style="list-style-type: none"> （1）地域社会の動向 <ul style="list-style-type: none"> ・太田川ダムが平成20年に完成し、ダム湖周辺整備により新たな観光拠点となっている。 ・平成27年3月には新東名高速道路遠州森町スマートICの開設により既存の中遠広域農道と直結し、森町北部地域のアクセスが飛躍的に向上した。 （2）地域経済の動向 <ul style="list-style-type: none"> ・地域有志で天方・三倉地域のオープンハウス「ぷぷふの日」のイベントを開催し、多くの観光客が訪れるようになってきている。 ・森町北部地域のお茶だけ（天方茶）でなく、野菜やコメ（森のコシヒカリ）など、寒暖の差を生かした高品質な農産物のブランド化が図られるつつある。
対応方針（案）
<ul style="list-style-type: none"> （1）評価結果 <p>事業効果は十分に発現しており改善措置の必要はない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施を契機に、農業生産法人「天方農園」、農事組合法人「あじさいグループ」及び株式会社「天方」、複合型体験施設「アクティ森」の農商工連携により、多様な取組みが展開され、地域活性化が促進されている。 （2）今後の課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・新東名高速道路開通により、森町南部地域への交流人口が飛躍的に増加したことと比較し、森町北部地域は増加していないため、南部に訪れる人を北部に誘客する仕組みが必要とされる。 ・生産者の高齢化が進行するなか、定住希望者へ空き家を斡旋など、受け入れ態勢の強化を図り、生産技術及び文化の継承を促進する必要がある。 （3）同種事業への反映等 <ul style="list-style-type: none"> ・事業完了後に地域に新たな取組みが生まれ、活性化に繋がる等の多様な効果を発現したことから、本地区の取組みを他の中山間地域へ反映させていく。

中山間総合整備事業 天方三倉地区 位置

縮尺 1/65,000



凡	例
	田
	畑
	樹園地

凡	例
	市町村界
	農業振興地域
	山振地域
	特定農山村地域
	事業計画区域
	主要地方道・県道
	1・2級町道
	農協
	学校(小・中)

凡	例
	農業用排水
	農道
	ほ場整備
	農用地開発
	集落道
	営農飲雑用水
	集落排水
	農村公園
	活性化施設

中山間総合整備事業天方三倉地区 事業効果

●事業概要

県営中山間地域総合整備事業 (天方三倉地区)

目的 中山間地域の農林業の振興と農村の活性化を支援
 実施期間 平成11年度～平成21年度(11年間)

＜農業生産基盤整備＞

農業用水路 2箇所(①～②)



用水の有効利用、維持管理の軽減を目的に農業用水路をパイプライン化しました。

農道 5路線(③～⑦)



農業生産、流通の効率化を目的に農道を拡幅、新設しました。

ほ場整備 2箇所(⑧～⑨)



営農の効率化を目的に農地の区画を大きくしました。

農用地開発 1箇所(⑩)



活力ある農業発展を目的に新たに茶園を造成しました。



＜生活環境基盤整備＞

農業集落道 5路線(⑪～⑮)

農村集落における自動車交通の円滑化を目的に道路を拡幅、新設しました。



営農飲雑用水施設 6箇所(⑯～⑳)

営農用水、生活用水の供給を目的に水道施設を整備しました。



農業集落排水施設 1箇所(㉑)

農村の雨水排除を目的に排水路を整備しました。



農村公園 1箇所(㉒)

住民の憩いの場、文化的資産の保全を目的に公園を整備しました。



活性化施設 1箇所(㉓)

農村の活性化を目的に交流、実習など多目的に利用できる施設を整備しました。



ふじのくに
美しく品格のある邑
Charming and Graceful Villages in "FUJINOKUNI"

集落機能の維持強化

農業集落道

営農飲雑用水

農業集落排水

農村公園

活性化施設

お茶を中心とした地域産業の振興

農用地開発

ほ場整備

農道

農業用排水

生産の安定
ブランドの創出
経営の向上

生産性及び品質の向上

●事業効果の発現状況 <食料の安定供給の確保に関する効果> <農用地開発>
 事業実施前 事業実施後



●事業実施による環境の変化

農用地開発により、乗用機械が導入可能な生産効率の高い樹園地が造成され、安定した経営基盤を確保。

- ・自園自製の茶生産組織が設立
- ・都市圏への天方茶の供給が安定
- ・ブランドの確立



<農道整備>

- ・農道整備により1haあたりの年間作業時間が399時間から100時間に節減された。



●事業効果の発現状況 <農村の振興に関する効果> <営農飲雑用水>

- ・営農飲雑用水の整備により、用水の確保が容易となり、農機具・農作物の洗浄用水等に係る経費が節減された。



●事業実施による環境の変化

農業基盤が整備されたことにより

未舗装で幅員が狭く通行に支障

拡幅、舗装され農業用資材等の輸送が容易に



～地域の安定した農産物生産力に支えられ～

農事組合法人
「あじさいグループ」

三愛会議(意味:3組織の愛が集まった会議)
毎月第4月曜日の午前 開催

株式会社
「天方」



地域の拠点施設 アクティ森



商品開発・イベント計画・魅力発信

●事業実施による環境の変化

●社会経済情勢等の変化

アクティ森にて開設した直売所



100種類を超える商品開発

森のコシヒカリ

